

姉妹都市

— 世界をつなぐ笑顔と勇気 —

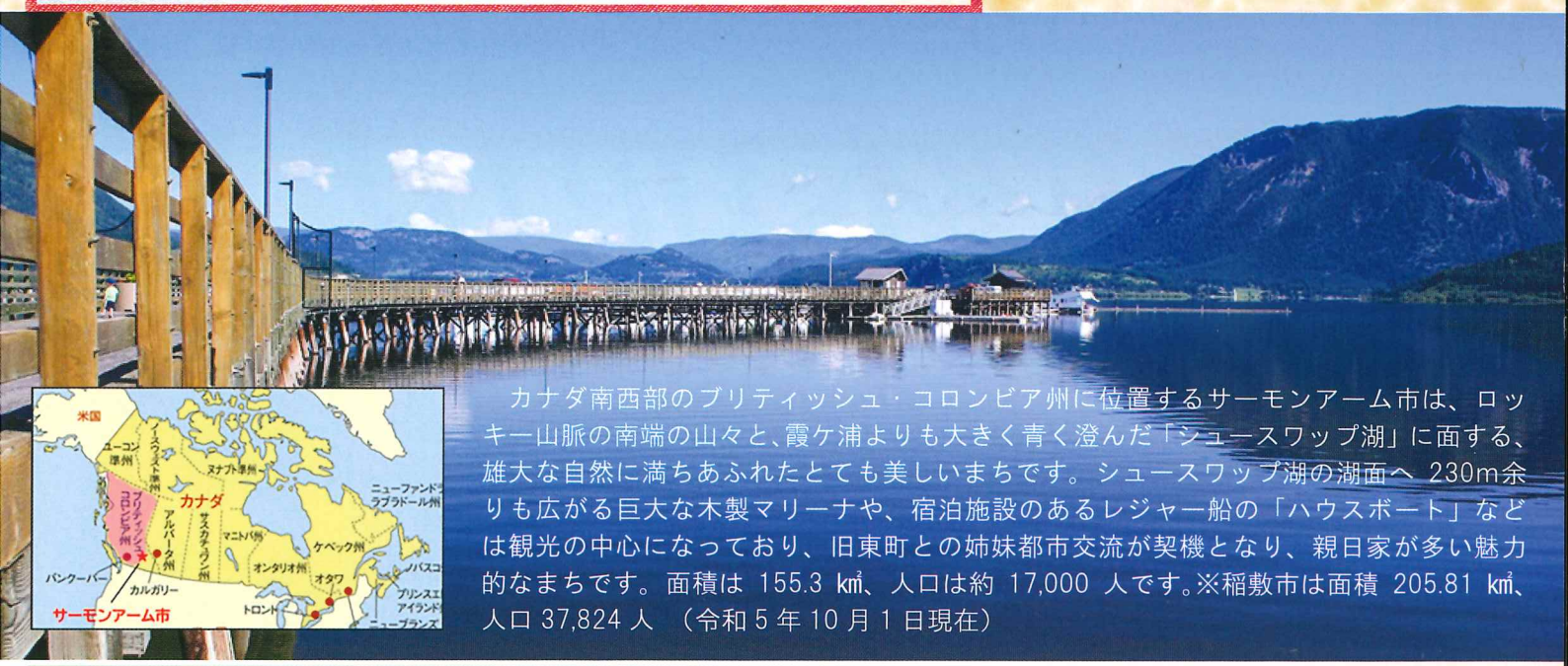
No.29
2023.12



サーモンアーム市への交流ビデオ作成の様子
(新利根中学校)

【今後のサーモンアーム市交流事業について】

サーモンアーム市との青少年派遣・受入事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大等の影響により、中止が余儀なくされておりましたが、現在、再開に向けてサーモンアーム市と協議を行っております。今後の予定が決まり次第、市の広報紙等でお知らせいたします。



カナダ南西部のブリティッシュ・コロンビア州に位置するサーモンアーム市は、ロッキーマウンテンの南端の山々と、霞ヶ浦よりも大きく青く澄んだ「シュースワップ湖」に面する、雄大な自然に満ちあふれたとても美しいまちです。シュースワップ湖の湖面へ 230m 余りも広がる巨大な木製マリーナや、宿泊施設のあるレジャー船の「ハウスボート」などは観光の中心になっており、旧東町との姉妹都市交流が契機となり、親日家が多い魅力的なまちです。面積は 155.3 km²、人口は約 17,000 人です。※稲敷市は面積 205.81 km²、人口 37,824 人（令和 5 年 10 月 1 日現在）

新利根中学校との交流紹介 ～ビデオレター交換交流～

新利根中学校では、3 年生が、サーモンアーム市の Salmon Arm Secondary School の日本語クラスの生徒と、インターネットを利用したビデオレターの交換交流に取り組んでいます。
学校の様子や、自己紹介、夏休みのレポート等をビデオやスライドにして、交流校の生徒と交換しました。
現在は、学年を 12 の班に分け、ALT の先生と練習しながら、日本文化の紹介ビデオを作成しています。（表紙写真）



【交流校の教室の様子】

姉妹都市交流委員会研修会 ーワールドキャラバンー

令和 5 年 11 月 18 日（土）に、茨城県国際交流協会の国際理解教育講師等派遣事業（ワールドキャラバン）を活用し、カナダ出身のグロリア・チェン氏をオンライン講師とした会員研修会を開催しました。
研修会では、カナダの教育制度や文化等を学び、活発な意見交換が行われ、参加者からは、分かりやすい説明でカナダへの興味がさらに深まった、子どもたちにも是非聞かせてあげたい、などの声がありました。
今回の研修を今後の交流事業の発展に生かしてまいります。



会長 あいさつ
稲敷市姉妹都市交流委員会
会長 清水美香

Amazing！私と姉妹都市交流委員会との出会いは、17 年前のサーモンアーム市訪問団の引率者トリーナさんの受入れです。私はその時妊娠 6 か月でした。数年前、トリーナさんが来日した時に、娘を連れて成田空港に会いに行きました。あの当時お腹にいて会うことができなかった子との対面は本当に Amazing！
11 年間に渡りご尽力いただきました前会長の石井道朗氏より、この度会長職のバトンを受け取りました。派遣・受入れの交流は 2019 年に日本より訪問したのを最後に再開できていませんが、現在、新利根中学校でオンラインでの交流を試みています。他の中学校もこれに続くようサポートし、両市の交流が末永く続くよう微力ながらお手伝いさせていただきたいと思います。

— INFORMATION —

会員募集！あなたも国際交流しませんか？

稲敷市姉妹都市交流委員会

親善大使派遣事業や親善訪問団受入事業など、稲敷市が実施する姉妹都市（サーモンアーム市）との幅広い活動に協力し、交流活動を展開しています。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は稲敷市ホームページをご覧ください。

稲敷市 姉妹都市交流

問合せ・申込は
『まちづくり推進課内務局』
029-892-2000（代）まで



編集後記

姉妹都市交流は長い歴史を重ねてきましたが、姉妹都市の主導者や協力者が世代交代を迎えており、新たなステージに入るときが来ていると思います。これまでの実績を称えつつ、オンラインでの交流など、新たな姉妹都市交流の形を探るときだと感じています。違う形は必要ですが、最高のフレンドシップは、直接触れ合えることだと思いますので、より良い交流となることを目指して取り組んでまいります。

編集：稲敷市姉妹都市交流委員会広報委員・稲敷市まちづくり推進課

交流委員会広報委員

山本 彰治（委員長）、倉田 九豪（委員）、小貫 直美（委員）